



2021年12月

32号



IRPA会長のBernard Le Guen氏がスペインから表彰されました。詳しくは会長のブログをご覧ください。

本号の内容

| | |
|-------------------------------------|------|
| 会長のブログ | - 2 |
| NORM X – 第10回NORMに関する国際シンポジウム | - 4 |
| モントリオール基金へのサポートのお願い | - 7 |
| IRPAウェブサイト更新情報：放射線防護のキャリアとIRPA15の概要 | - 8 |
| クロアチア放射線防護学会のアップデート | - 9 |
| ルーマニア放射線防護学会の2021年国内会議 | - 10 |

翻訳: 桧垣 正吾、藤田 博喜、監修: 藤通 有希。

この"IRPA会報"の日本語訳は、IRPAの公式的な翻訳ではありません。そのため、IRPAはその正確性を保証するものではなく、またその解釈や使用がもたらすいかなる結果についても、一切責任を負いません。

Translated by Shogo Higaki and Hiroki Fujita and reviewed by Yuki Fujimichi.

This Japanese translation of "IRPA Bulletin" is not an official IRPA translation; hence, IRPA does not guarantee its accuracy and accepts no responsibility for any consequences of its interpretation or use.

IRPA 出版委員会

委員長: Andrew Karam; 会報編集担当: Andrew Karam & Dave Niven; 加盟学会連絡担当: Adelene Gaw; ウェブサイト管理運営担当: Andrew Karam & Chris Malcolmson; ソーシャルメディア対応担当: Sven Nagels & Chris Malcolmson; メディア情報収集担当: Sven Nagels, Young-Khi Lim & Hattori Takatoshi; プロシーディングアドバイザー: Haruyuki Ogino



会長のブログ

DR. BERNARD LE GUEN

大人になったら何になりたいか？と聞くと、ほとんどの子どもは「消防士」「宇宙飛行士」「プロスポーツ選手」「医者」など、さまざまな職業を挙げるでしょう。これらの職業に共通しているのは、子どもが聞いたことがある仕事・キャリアである、テレビで見たことがある、尊敬する理由がある、ということです。放射線防護の仕事を夢見て成長する子どもはあまりいませんし、実際、私たちの職業を聞いたことがある大人はほとんどいないでしょう。その結果、私たち放射線防護の専門家は減少し、放射線防護の仕事は世界的に、技師や安全の専門家そして放射線防護の仕事を二の次にしている人たちによって副業として行われることが多くなっています。



以前、私たちの仕事は重要だと言いましたが、今もその通りです。私たちの仕事の多くは、技師や医療技術者、安全の専門家、医師などが行うことができますが、放射線防護を職業とすることを選んだ献身的な専門家、つまり、勉強し、認定やその他の資格を得るために働き、何年も何十年もかけて学び、この専門性を高めることを選んだ分野のニュアンスを理解してきた人たちが行わなければならないことがたくさんあるのです。私たちは、自分の知識と情熱を学生と共有できる教授を、形式やチェックリストにとらわれず何が重要で何が重要でないかを理解できる規制当局者を、難しい問題や新しい状況に自分の経験を生かせる放射線管理者を、私たちの職業と私たち専門家の学会を維持する仕事をする人などを必要としています。そして現状は、過去数十年間と同様、そして今後数年間も、私たちの職業が重要であり続けるために必要な人材がいないのです。

IRPAのウェブサイト「放射線防護のキャリア」のページを新設したのは、RPという職業に興味をお持ちの方に私たちの仕事内容を理解していただき、充実したキャリアとして考えていただくため、また、新しい放射線防護専門家に、数年、数十年にわたって個人的にも専門的にも成長できる興味深いキャリアにする方法を知っていただく手助けをすることが主な理由です。ぜひ、ご一読いただき、より良いものにするためにご協力をお願いします。放射線防護のアカデミックプログラムをご存じですか？教えてください！URLをお送りいただき、それについて文章を書いていただければ、ウェブページに追加させていただきます。あなたの国（またはあなたの加盟学会）には専門家認定制度がありますか？それも教えてください。あなたの国の資格認定プロセスを説明するウェブサイトへのリンクを私たちにメール（cop@irpa.net）して、そのプロセスがどのように機能するかを仲間に教えてください。といった具合です。このように、あなたは私たちの職業を構築する手助けができます - そして、私たちはあなたの手助けを必要としています。



会長のブログ

DR. BERNARD LE GUEN



その他のニュースとして、IRPAは[国際放射線医学会（ISR）](#)と、放射線防護の分野における両団体の協力関係を強化するための覚書を締結したことをお知らせします。

この合意により、両者はそれぞれの目的を推進する上で、互いに補完し合えることを認識しました。IRPAとISRの両者は、具体的には以下のことを行います。

- 合同イベントやセッションを開催する
- FOROとIRPAのホームページへの相互リンクを掲載する
- それぞれの代表者に対し、各イベント、会場に関する参加のための情報を提供し、場合によっては招待する
- 会議出席のための公式招待状を送る
- プロジェクトにおける協力の可能性を探る

IRPA会長のBernard Le Guen氏がスペインから表彰される

2021年11月25日、IRPA会長のBernard Le Guen氏は、スペインのサラゴサ王立医学アカデミーから、Corresponding Academicianとして迎えられ、スペイン国王陛下に代わり、同アカデミー会長のLuis Miguel Tobajas Asensio博士からメダルおよび賞状が授与されました。スペイン放射線防護学会からは、Eduardo Gallego教授が代表として出席しました。

任命式に続き、Le Guen博士は「Exposition de l'homme aux rayonnements ionisants et effets sur la santé in cas d'expositions accidentelles aux fortes doses. Exemples de prises en charge médicales d'accidents d'irradiations localisées. (電離放射線への人体被ばくと、偶発的に高線量に被曝した場合の健康への影響。局所的な放射線事故の医療管理の例)」と題した講演を行いました。

Bernard氏の今回の受賞を心よりお祝い申し上げます。





NORM X - 第 10 回 NORM に関する国際シンポジウム

JEROEN WELBERGEN

オランダ放射線防護学会（NVS）は、第10回NORMに関する国際シンポジウムを開催するため、オランダ財団「Radiation Protection Symposium North-West Europe」を設立しました。NORM XIはIAEA、EC、ILO、ICRP、IRPA、UNSCEAR、USEPA、ARPANSA、CRCPD、ENA、SHARE、ANVS、NVSの協力で開催されます。本シンポジウムの対象者は、NORM残渣を扱う産業、処分施設、（国際）国内輸送の各分野のほか、規制当局、研究者、サービスプロバイダーなど、さまざまです。



NORM Xは、運用面の調和を高め、すでにかかなりの相互調和を達成しているEU BSSやIAEA GSR Part 3（IAEA BSS）を含む国際ガイダンスや規制のより広い適用につながるはずです。NORM Xのプログラムは、物質循環を成立させるという国際的な指針の進展を反映して以下の内容で構成されます。

- NORMに関する特定のトピックについてプレナリーセッションとパラレルセッションがあり、各セッションには国際的な専門家が招待講演者として登壇します。
 - NORM規制の25年：Peter Görts (ANVS、オランダ)
 - 規制の基本的側面と実践的側面：Jelena Mrdakovic-Popic (DSA, ノルウェー), Philip Egidi (米国 EPA), Miroslav Pinak (IAEA)
 - 現在および将来の課題 - 循環型経済におけるNORM鉱滓および残渣：Julian Hilton (Aleff Group, 英国) および Analia Canoba (ARN, アルゼンチン)
 - NORMの環境的側面：Horst Monken-Fernandes (IAEA)
 - NORMの影響を受けた産業：Ulric Schwela (Ta-Nb Int. Study Centre, 英国)
 - NORMサンプリングと計測：Luis Ernesto Matta (IRD, Brasil)
 - ステークホルダーの参加とコミュニケーション：David Allard (NJDEP, 米国), Yevgeniya Tomkiv (NMBU, ノルウェー)
 - 研究開発：Wouter Schoeyers (University of Hasselt, ベルギー)
 - NORMとして取り扱われる物質の輸送：Eric H. Weber (IAEA)



- 以下の専門分野のトピックス
 - 労働者、公衆および環境の防護
 - 法規制
 - 教育・訓練（キャパシティビルディング）
 - ラドン／トロン
 - U、Thを含む鉱石の採掘
 - レアアース、ニオブ、タンタル産業
 - ジルコンおよびジルコニア、二酸化チタン産業
 - リン鉱石産業およびリン鉱石
 - 石油・ガス生産および地熱産業（液体NORMを含む）
 - 石炭燃焼、セメント、建築および建設資材産業
 - 廃止措置および環境修復
 - NORM 残留物および廃棄物管理
 - その他
- 再教育コース（自由参加、ANVSとAAHPによる公認予定）。
 - NORMの安全管理のための規制枠組み - 規制から実施まで、国際勧告と欧州の要件：講師 Burçin Okyar (IAEA)、Stefan Mundigl (EC)
 - 安全の基本原則から放射線防護プログラムの運用まで：講師 Konstatinos Karfopoulos (AEC、ギリシア)
 - 自然起源放射性物質の排出による公衆被ばくの評価 - 重要なパラメータと線量推定への簡単なアプローチ：講師 Christian Kunze (IAF-Radioökologie、ドイツ)
 - 環境NORMリスク評価における規制当局の視点（ユーザーの視点から見たリスクモデルの経験）：講師 Cameron Lawrence (ARPANSA、オーストラリア)
 - NORMの計量とサンプリング：講師 Rafael García-Tenorio (CAN, セルビア大学、スペイン)（ENAと共同開催）
 - NORMに関するリスクと健康についてのコミュニケーション：理論から実践まで：講師 Tanja Perko (SCK-CEN、ベルギー) (SHARE / RICOMETと共同開催)
 - NORM残留物の安全管理に関するワークショップ：講師 Zhiwen Fan (IAEA)
 - 工業プロセスにおけるNORMに対するICRPシステムの適用：Pub.103から142まで：講師 Analia Canoba (ARN、アルゼンチン) およびJean-François Lecomte (IRSN、フランス)
 - NORMサイトの廃止措置（2つのケーススタディ）：講師 Mette Nilsen (DSA、ノルウェー) およびJames McCullough (NJDEP、米国)
- 視察（予定）
 - 地熱発電所（オランダ）
 - パイプクリーニングの設置（オランダ）
 - NORM処分場（オランダ）
 - 税関のNORM測定装置（ベルギー）
 - 石膏デポニー（ベルギー）
- ENAとSHARE/RICOMETが主催する関連イベント



NORM X - 第10回NORMに関する国際シンポジウム

JEROEN WELBERGEN

要旨送付の締め切りは2022年2月1日、採否の連絡は2022年2月15日です。採択された場合、2022年4月1日までにフルペーパーを送付してください。口頭発表またはポスター発表に応募できます。口頭発表は1件あたり25分（発表20分、質疑応答5分）を予定しています。演題の採択によって登録が左右される場合は、演題を提出した日の登録料が適用されます。

オランダ財団理事会は、2022年5月9日～13日、オランダのユトレヒトで開催される本シンポジウムへの皆様のご参加をお待ちしております。詳細、登録、会場などは、www.NORMX2022.comをご覧ください。



ユトレヒトのカンファレンスセンター、Jaarbeurs





モンリオール基金は皆様のご支援を必要としています！

SIGURDUR M MAGNUSSON

モンリオール基金（MF）は、世界の放射線防護を強化するために、IRPAの各地域での大会や国際会議への学生や若手専門家の参加を支援するために利用されています。この支援は、発展途上国やIRPAの加盟学会のない国からの参加者に優先的に提供されます。

MFは、基本的に加盟学会やその他の利害関係者からの寄付によって支えられています。しかし、最近ではその寄付が減少してきており、深刻な問題となっています。来年には、MFからの資金提供を期待される幾つかの各地域での大会があります。加えて、2024年にオランダで開催されるIRPA16は目前に迫っており、このMFからの多額の支援が必要となります。MFがその重要な役割を果たすためには、我々の加盟学会からの多くの寄付が必要です。数百米ドルや数千米ドルの寄付であっても、それが積み重なれば、将来的には大きなMFへの支援となります。

モンリオール基金の歴史

モンリオール基金は、カナダ放射線防護学会によって、1992年にカナダのモンリオールで開催されたIRPA-8国際会議の収益金をもとに、1995年に設立されました。2005年に、合計75000カナダドルの基金が、IRPAに移管されました。これ以降、モンリオール基金は、IRPA [モンリオール基金委員会](#)によって管理されています。この委員会は、IRPA会長、副会長、理事、会計によって構成されています。この委員会は、毎年^の配分可能額と、寄せられた要望に基づいた分配額に関して、理事会へ提言を行っています。

分配金は通常、選出された個人に直接、あるいは大会支援委員会を通じて、支払われます。支援を受ける個人は、モンリオール基金委員会への[委託条件書](#)に従って選出されます。大会支援委員会は、大会終了後に、分配された補助金の会計報告（受領人の氏名を含む）をIRPAの会計に提出することを求められます。

モンリオール基金からの直近の分配額は以下の通りです（単位 米ドル）

- 2008年-2012年：16,000ドルをナイロビ（ケニア）とメデリン（コロンビア）で開催された地域大会への参加者、21,800ドルをIRPA-13（グラスゴー）の奨学金基金に支援
- 2012年-2016年：6,000ドルをラバト（モロッコ）で開催された地域大会への参加者、IRPA-14（ケープタウン）への参加者に支援
- 2016年-2020年：8,429.50ドルをアフリカで開催された地域大会への参加者、30,000ドルをIRPA-15（ソウル）への参加者に支援

2021年1月時点でのモンリオール基金の残高は、30,500ドルでした。パンデミックにより2021年1月にオンラインで開催されたIRPA-15国際会議では、当初予算計上されていた30,000ドルのうち、15,000ドルが返金され、追加で10,000ドルの寄付がありました。さらに、オランダと北欧の学会から寄付を頂きました。IRPAはこれらの寛大な寄付に感謝致します。



IRPAウェブサイトの更新

放射線防護分野でのキャリア

IRPAは、IRPAウェブサイトに[放射線防護分野でのキャリア](#)のウェブページを新設致しました。現在、RPキャリアのウェブページには、放射線防護に関わる職業の説明、IRPAのいくつかの関連学会の特定の情報へのリンクが含まれています。このページの進展に伴い、RPの学位プログラムへのリンク、求人情報（可能な場合）、及びキャリアに関連する付加的な情報を掲載する予定です。このキャリアに関連する情報は、放射線防護の専門職が何をし、どのように放射線防護分野でのキャリアを始め、そのキャリアを形成していくのかを、読者によりよく理解して頂けるようなものにします。

放射線防護に関わる職業は重要です-どの国にも病院があり、様々な産業があり、放射線や放射能を利用します-しかし、私たちのことや私たちが行っている仕事についてご存知の方は非常に少なく、私たちのことをご存知の方でも、放射線防護分野におけるキャリアをどのようにスタートさせ、形成していくのかを必ずしもご存知ではではありません。このRPキャリアのウェブページがこの不足している情報を補う手助けになることを願っていますが、これは長期的かつ多面的な取り組みの第一歩に過ぎません。この取り組みを成功させるために、皆様の学位プログラム、認定プログラム、職能団体や学会、その他のキャリアに関連する情報（ウェブページへのリンクを含む）をCOP@irpa.netまでお送り下さい。

IRPA 15 プロシーディングス



IRPAウェブページで、[Proceedings of the 15th International Congress of the International Radiation Protection Association](#)が公開されています。これは、IRPA-15国際会議の全ての要旨、発表の中から投稿された100以上の個別の論文を含んだ1つの冊子となっています。録画された発表のビデオへのリンクは、今後、このページに追加される予定です。

国際会議の日程変更など、パンデミックによる様々な課題が生じたにも関わらず、会議組織委員会には、興味深く、有益なトピックや議論に満ちた素晴らしい会議を開催して頂きました。このプロシーディングスをご覧頂き、あなたが不足していると思われることを見つけ、2024年に開催されるIRPA-16での発表をご検討頂ければと思います。



クロアチア放射線防護学会の新理事会

INES KRAJCAR BRONIĆ & IVANA COHA

クロアチア放射線防護学会（CRPA）は、4年間隔で理事会役員を選出を伴う総会（GA）を開催しています。通常、GAは定期的なCRPAシンポジウムの際に開催しますが、他のイベントと同様に、2021年4月に予定されていたシンポジウムはキャンセルとなりました。夏の間にはやや状況が改善したことで、2021年10月6日に対面式での会議を開催することができました。

CRPAの講演者、会長、財務担当者が、2017-2021期に実施した活動をまとめて、学会員に発表しました。パンデミックによる制限と部分的なロックダウンにより、この2年間の活動はほとんどありませんでした。大部分の理事会の活動は今期の前半に行われ、2019年4月にヴェラズディン（クロアチア）で開催された第12回CRPAシンポジウムを組織することが最も重要なものでした。CRPA若手学会員班も、今期はかなり活発的に活動をし、2018年と2020年にそれぞれ1回ずつ、計2回の班会議を主催しました。ここでは、若手学会員がネットワークを形成し、科学的あるいは専門的な活動に関する情報を共有することができました。また、若手学会員班は、2019年のシンポジウムの開催中に、近隣の学会から若手の学会員を招待し、多くの非公式外合を行いました。最後に、2019年10月にCRPAはザグレブで第16回の会議を開催しました。その会議には、ヨーロッパの15カ国から25人の参加者が集まりました。この会議がこの種の対面での会議の最後となりました。

2017年、2019年、2021年に、若手科学者や技術者による最優秀論文あるいは出版物の募集が行われました。残念ながら、2017年と2021年の募集に対する候補者はいませんでした。このため、CRPAは、2018年と2020年にヨーロッパIRPA会議において若手科学者及び技術者賞（YSPA）の代表者を出せませんでした。Marko Gerićは、2019年に国内賞を受賞し、2021年1月にソウル（韓国）で開催されたIRPA会議にCRPAを代表して参加しました。

CRPAは、この地域の放射線防護学会、特にセルビア・モンテネグロ放射線防護学会、スロベニア放射線防護学会、ハンガリー・ローランド・エトヴェシュ物理学会保健物理部会と有益な関係を築いてきました。これらの団体の代表者は、定期的にCRPAの国内シンポジウムに参加し、CRPAはこれらの団体の国内会議へも代表者を派遣してきました。また、CRPAの代表者は、ヨーロッパIRPA関連学会の年次会議にも定期的に参加をしてきました。

最後に、2021-2025年期のCRPA理事会の役員が選出されました。新会長にはIvana Cocha氏（Ruder Bošković Institute）、副会長にはBranko Petrinc氏（Institute for Medical Research and Occupational Health）、書記にはRenata Ban（Ekoteh, Zagreb）が就任しました。

CRPAに関する情報は、CRPAのウェブページwww.hdzz.hr掲載されており、英語での内容掲載については、現在作成中です。



2021年ルーマニア放射線防護学会国内会議

ルーマニア放射線防護学会（SRRp）は、Fiz. Constantin Miluh博士が会長を務めており、2021年1月1日時点で70人の正会員を持つルーマニアの放射線防護の専門家の学会です。SRRpは、1990年5月30日に設立され、1992年から国際放射線防護学会（IRPA）の加盟学会になっています。

SRRpは、国際会議に積極的に参加しており、“IRPA中央及び東部ヨーロッパ地域会議”をブラショフで（IRPAと協力して）開催をしました（2007年9月24日-27日）。最近では、2018年5月にハーグで開催されたIRPA-5ヨーロッパ会議、IAEA放射線安全に関する国際会議（2020年11月9日-20日）、医療従事者の放射線防護における教育とトレーニングに関するIAEAオンラインワークショップ（2021年3月8日-10日）に参加しました。直近では、SRRpは、2021年10月22日に、放射線防護における現在の実務、新しい概念、規制そして評価をテーマとした国内オンライン会議を開催しました（プロシーディングスは、下のイメージをクリック頂くことで、ご覧になれます）。



SOCIETATEA ROMÂNĂ DE RADIOPROTECȚIE

CONFERINȚA NAȚIONALĂ A SOCIETĂȚII ROMÂNE DE RADIOPROTECȚIE (SRRp_2021) cu tema:

*Noi concepte, reglementări și evaluări în domeniul
protecției radiologice în practicile actuale*

*Masa Rotundă: Planificarea și pregătirea răspunsului
la urgența nucleară în România, după accidentul de la
Fukushima*

- PROGRAM -
- LUCRĂRI SELECTATE -

Vineri 22 octombrie 2021, on - line , orele 09:00 - 17:00

Editura ETNA
SRRp